



防災への地域貢献活動で 自身が成長する！

近畿大学生物理工学部学生消防団は、平成31年4月に結成され、今年で3年目となります。地域防災へ貢献を目指して近畿大学生物理工学部の学生による、若い力の消防団活動への参加が注目されています。

全国各地で大学生等を消防団員として採用しようという動きが広まりをみせており、令和2年4月1日現在で5,404人の学生団員が活躍しています。

※ 総務省消防庁「学生消防団員の活動」より

<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/activity/student/>

◆ 学生消防団活動認証制度

真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大な貢献をした大学生、大学院生等について、市町村からその功績を認証し、就職活動を支援することを目的とする制度です。なお、本制度は大学や経済団体へ周知されています。

■ 学生消防団員側のメリット

- ・ 就職活動時に、消防団員として地域に貢献してきた実績や防災に関する知識・技術を有していることをアピールすることができます。
- ・ 就職活動時に、消防団活動における実績が評価されることで、さらなる消防団活動への意欲の向上が期待できます。

■ 企業側のメリット

- ・ 消防団員として地域社会に貢献し、団体行動や規律等を身につけた人材を確保することができます。
- ・ 消防団活動から習得した防災に関する知識や技術を有した人材を採用することで、企業における防災力の向上につなげることができます。

＜認証手続きの流れ＞



認証対象者(例)

- 1年以上の活動実績
- 在学中又は大学等を卒業して3年以内

【申請】

認証を希望する学生消防団員は、所属する消防団長に認証の推薦を依頼し、消防団長が市町村長に推薦します。

【審査】

市町村長は推薦のあった学生消防団員の功績の認証の可否を審査します。

【交付】

市町村長は、審査の結果、認証することを決定した場合は、「認証状」(本人用)と「認証証明書」(企業提出用)を交付します。

近畿大学生物理工学部学生消防団活動状況

生物理工学部学生消防団の主な活動内容は、放水訓練、心肺蘇生訓練のほか、手作りのチラシや紙芝居で、防火や防災の啓発活動を行っています。地震を想定した防災訓練では、学生消防団員は避難誘導などを行い、災害時における「人命を守る」大切な役割を担っています。



心肺蘇生訓練



放水準備訓練



放水訓練



那賀消防との合同訓練



避難誘導訓練



和歌山県警との合同訓練



生物理工学部 マスコットキャラクター
ロボパンダ BOST(ポスト)くん
生命科学と理工学の融合の象徴

近畿大学生物理工学部

〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930

TEL(0736)77-3888 FAX(0736)77-7011

近畿大学生物理工学部サイト : <https://www.kindai.ac.jp/bost/>